

政 治・経 済

注 意

1. 問題は全部で 11 ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その 1)はマーク・シートになっている。HB の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の ○ を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が 1 のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>								
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことにならない。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I

(1)～(4)の問1から問14までの設間に答えなさい。

(1)

問1 1960年代の日本の高度成長の要因として、適切でないものを下の①～④のなかから1つ選び、その数字を解答用紙(その1)の1にマークしなさい。

- ① 安価で豊富な国内労働力の存在
- ② 開放された輸出市場の存在
- ③ 外国からの大量の投資資金の流入
- ④ 旺盛な国内消費需要

問2 日本の第一次産業の就業人口は全就業人口について、1960年には約

ア %であったが、1980年までに約 イ %に低下した。

アとイに入るもっとも適切な数字の組み合わせを下の①～④のなかから1つ選び、その数字を解答用紙(その1)の2にマークしなさい。

- ① ア：50 イ：20
- ② ア：40 イ：30
- ③ ア：30 イ：15
- ④ ア：10 イ：5

(2)

1960年代、日本はウ制を採用していたが、米国はエに苦しみ、ドル防衛のために1971年8月、オ。主要国は国際通貨体制の動揺を受けて、カ年、キ制に移行した。

問3 ウに入るもっとも適切な語句を下の①～④のなかから1つ選び、その数字を解答用紙(その1)の3にマークしなさい。

- ① 変動為替相場
- ② 固定為替相場
- ③ 金本位
- ④ 複本位

問 4 エ に入るもっとも適切な語句を下の①～④のなかから 1つ選び、その数字を解答用紙(その 1)の 4 にマークしなさい。

- ① 労働不足 ② 貿易赤字 ③ 消費不足 ④ 金利高

問 5 オ に入るもっとも適切な文を下の①～④のなかから 1つ選び、その数字を解答用紙の(その 1)の 5 にマークしなさい。

- ① S D R (特別引き出し権)を廃止した
② G 7 サミットを開催した
③ 金とドルの交換を停止した
④ スミソニアン会議を招集した

問 6 カ に入る年を下の①～④のなかから 1つ選び、その数字を解答用紙の(その 1)の 6 にマークしなさい。

- ① 1972 ② 1973 ③ 1974 ④ 1975

問 7 キ に入るもっとも適切な語句を下の①～④のなかから 1つ選び、その数字を解答用紙の 7 にマークしなさい。

- ① 変動為替相場 ② 固定為替相場
③ 金本位 ④ 複本位

問 8 2016 年の各国のドル表示 G D P (名目)を大きい順に並べるとどのようになるか。もっとも適切なものを下の①～⑤のなかから 1つ選び、その数字を解答用紙(その 1)の 8 にマークしなさい。

- ① 中 国, 米 国, ドイツ, 日 本, インド
② 中 国, 米 国, 日 本, ドイツ, インド
③ 中 国, インド, 米 国, 日 本, ドイツ
④ 米 国, 中 国, 日 本, ドイツ, インド
⑤ 米 国, 日 本, 中 国, インド, ドイツ

問9 國際經濟の分野で、2008年に起った世界的な出来事は何か。もっとも適切なものを下の①～④のなかから1つ選び、その数字を解答用紙(その1)の9にマークしなさい。

- ① ドル危機 ② アジア通貨危機
③ ニクソン・ショック ④ リーマン・ショック

(3)

T P P は ク の略語であり、その主要目的の1つに ケ がある。
2017年、米国政府はT P P コ を表明した。

問10 ク に入るもっとも適切な語句を下の①～④のなかから1つ選び、
その数字を解答用紙(その1)の10にマークしなさい。

- ① 北米自由貿易協定 ② 国際貿易開発会議
③ 新国際經濟秩序 ④ 環太平洋経済連携協定

問11 ケ に入る語句として適切でないものを①～④のなかから1つ選
び、その数字を解答用紙(その1)の11にマークしなさい。

- ① 関税の撤廃 ② サービス貿易の促進
③ 知的財産権の撤廃 ④ 投資の自由化

問12 コ に入るもっとも適切な語句を下の①～④のなかから1つ選び、
その数字を解答用紙(その1)の12にマークしなさい。

- ① 加入 ② 解体 ③ 離脱 ④ 拡大

(4)

問13 石油や石炭などの化石燃料の使用を抑えるために課す税金を サ 税
と呼ぶ。 サ に入るもっとも適切な語句を漢字2文字で解答用紙(そ
の2)に記入しなさい。

問14 過疎化が進んで共同体(コミュニティ)としての機能が失われる集落を
シ 集落と呼ぶ。 シ に入るもっとも適切な語句を漢字2文字
で解答用紙(その2)に記入しなさい。

II 次の文章を読み、問1から問12までの設問に答えなさい。

様々な財・サービスの価格の平均的な水準を物価といふ。物価は、経済の実態を映す鏡や体温計に例えられる。そして、日本の中央銀行である日本銀行は、物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資することを理念として、政府から独立して金融政策を運営している。現在、金融政策の中心的な手段は A である。これは、日本銀行が国債や手形などを売買することによって、短期金融市场における資金の供給量を調節して B を誘導するものである。近年の景気後退期のもと B が実質0(ゼロ)%に近づき、これ以上引き下げられない状態となり、2013年から C の前年比上昇率2%という物価安定の目標を設定して物価水準の調整をはかる政策がとられている。

市中銀行(民間銀行)は、顧客から預金を受け入れると、その一部を預金準備金として日本銀行の D に預け入れ、残りを企業などに貸し出している。市中銀行が預金の受け入れと貸し出しを繰り返すことによって、預金通貨をつくり出すことを E という。 市中銀行の業務の1つには、送金や手形・小切手を使った支払いなどによって資金の決済をおこなう F がある。国家間の資金の決済には、通常、自国通貨と外国通貨を交換する必要がある。このような各国の通貨の取り引きがおこなわれる市場を G 市場といい、自国通貨と外国通貨の交換比率を為替レートという。日本において、為替レートが変動して円安となった場合、他の要因が変化しなければ通常、燃料や原材料などの輸入品の価格は H し、日本の物価は I する。為替レートの変動には、各国の物価水準や金利水準、国際収支の動向などが影響を与える。なかでも、ある時点における同一の市場の財・サービスは1つの価格になるという「一物一価」の考え方の上で、物価水準の国際的な格差から為替レートが決まるという説を J 説という。為替レートの変動が激しいとき、日本銀行は K に介入し、市中銀行などと外国通貨の売買をおこなって為替レートを安定させようとする。このような介入を L 操作という。

問 1 A に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから1つ選び,
その数字を解答用紙(その1)の 13 にマークしなさい。

- ① 公定歩合操作 ② 預金準備率操作
③ 公開市場操作 ④ 公的介入

問 2 B に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから1つ選び,
その数字を解答用紙(その1)の 14 にマークしなさい。

- ① 公定歩合 ② 預金金利
③ 為替レート ④ 無担保コールレート(翌日物)

問 3 C に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから1つ選び,
その数字を解答用紙(その1)の 15 にマークしなさい。

- ① 消費者物価 ② 企業物価
③ GDPデフレーター ④ 通貨価値

問 4 D に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから1つ選び,
その数字を解答用紙(その1)の 16 にマークしなさい。

- ① 普通預金 ② 定期性預金 ③ 当座預金 ④ 譲渡性預金

問 5 下線部(a)について、ある市中銀行が最初に受け入れた預金を100億円、預
金準備率が20%であるとき、最初の預金額を除いた預金通貨の増加分とし
て適切なものを下の①～④のなかから1つ選び、その数字を解答用紙(その
1)の 17 にマークしなさい。

- ① 300億円 ② 400億円 ③ 500億円 ④ 600億円

問 6 E に入るもっとも適切な語句を漢字4文字で解答用紙(その2)に
記入しなさい。

問 7 に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから 1つ選び、
その数字を解答用紙(その 1)の にマークしなさい。

- ① 預金業務 ② 貸出業務 ③ 為替業務 ④ 金融仲介

問 8 に入るもっとも適切な語句を漢字 4 文字で解答用紙(その 2)に
記入しなさい。

問 9 と に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかか
ら 1つ選び、その数字を解答用紙(その 1)の にマークしなさい。

- ① H：下落， I：下落 ② H：下落， I：上昇
③ H：上昇， I：下落 ④ H：上昇， I：上昇

問10 に入るもっとも適切な語句を漢字 5 文字で解答用紙(その 2)に
記入しなさい。

問11 に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから 1つ選び、
その数字を解答用紙(その 1)の にマークしなさい。

- ① インターバンク市場 ② オープン市場
③ 公社債市場 ④ 株式市場

問12 に入るもっとも適切なものを下の①～④のなかから 1つ選び、
その数字を解答用紙(その 1)の にマークしなさい。

- ① 日銀 ② 平衡 ③ 協調 ④ 政府

III 次の文章を読み、下の問い合わせ(問1～問13)に答えなさい。

テロリズム(テロ)とは、一般に、暴力手段を用いて人々を恐怖に陥れることによって特定の A 目的を達成しようとする行為のことをいう。テロそれ自体は従来から見られる出来事である。たとえば、第一次世界大戦勃発の引き金となつたセルビア人青年によるオーストリア皇太子の暗殺はまさにテロであった。第二次世界大戦後はテロの形態が年代に応じて変化していくことになる。

1960年代から1970年代にかけて発生したテロは主として人質をとる行為だった。1972年にパレスチナゲリラは B 五輪の会場で C 選手団を襲撃して死傷させた。1977年に日本赤軍はバングラデシュの首都ダッカを舞台とするハイジャック事件を起こし、人質の身代金と特定の服役者・拘留者の釈放および日本赤軍への合流を要求した。日本政府はこの要求を受け入れて身代金の支払いと該当者の釈放を決定した。

1980年代になると爆弾を用いたテロが顕著になった。1987年の大韓航空機爆破事件と1988年のパンナム航空機爆破事件(ロッカビー事件)はいずれも航空機の機内に爆弾が仕掛けられたものである。米国政府はロッカビー事件が D による犯行であると断定し、 D に対して容疑者の引き渡しを求めた。

1990年代に入るとテロの脅威は格段に高まった。より強力なテロ組織による無差別で破壊的な手段を用いたテロが多発するようになるからである。1995年3月に東京の地下鉄で宗教団体 E が F を撒いた事件は初の大量破壊兵器テロとして国際社会に衝撃を与えた。そして、2001年9月にはいわゆる米国同時多発テロ事件が発生した。^(c)これに対して米国は、テロ事件を起こした国際テロ組織 G を掃討するため、これを支援する H 政権下のアフガニスタンに武力を行使した。この結果、 H 政権は崩壊した。日本は米軍を支援するために同年10月に I を成立させ、自衛隊を J に派遣して米軍等への給油活動を行った。

今日、テロは中東、東南アジア、ヨーロッパなど世界各地で発生している。^(d)くに国境を越えるテロ行為は一国の行動によって解決しうるものではなく、国際社会が結束して対策に取り組まなければならない。

問 1 下線部(a)に関連して、当時のいわゆる「三国同盟」を構成する国の組み合わせとしてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の [22] にマークしなさい。

- ① ドイツ・英 国・フランス
- ② 英 国・日 本・イタリア
- ③ ドイツ・フランス・オーストリア
- ④ ドイツ・オーストリア・イタリア
- ⑤ ドイツ・イタリア・日 本

問 2 [A] に入るもっとも適切な語句を解答用紙(その2)に漢字で記述しなさい。

問 3 [B] と [C] に入る語句の組み合わせとしてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の [23] にマークしなさい。

- ① B : ベルリン C : ヨルダン
- ② B : ボ ン C : シリア
- ③ B : ミュンヘン C : イスラエル
- ④ B : ミュンヘン C : シリア
- ⑤ B : ベルリン C : イスラエル

問 4 下線部(b)に関連して、当時の日本の首相を下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の [24] にマークしなさい。

- ① 福田赳氏
- ② 大平正芳
- ③ 鈴木善幸
- ④ 中曾根康弘
- ⑤ 竹下登

問 5 [D] に入る国名としてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の [25] にマークしなさい。

- ① イラン
- ② リビア
- ③ エジプト
- ④ トルコ
- ⑤ ソ 連

問 6 E に入るもっとも適切な語句を解答用紙(その2)に6文字で記述
しなさい。

問 7 F に入る語句としてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから
1つ選んで、解答用紙(その1)の 26 にマークしなさい。

- ① 炭疽(たんそ)菌
- ② ボツリヌス菌
- ③ サリン
- ④ VXガス
- ⑤ 塩素ガス

問 8 下線部(c)に関連して、米国同時多発テロ事件を受けた国連安全保障理事会の行動としてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の 27 にマークしなさい。

- ① 米国と英国に対して武力行使を許可した。
- ② 米国とロシアに対して武力行使を許可した。
- ③ 米国と中国に対して武力行使を許可した。
- ④ 米国と日本に対して武力行使を許可した。
- ⑤ 特定の国に対して武力行使は許可しなかった。

問 9 下線部(c)に関連して、米国同時多発テロ事件の発生時における日本、米國、英國、ロシアの最高指導者の組み合わせとしてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の 28 にマークしなさい。

- ① 日本：小泉純一郎 米国：G・W・ブッシュ 英国：キャメロン
ロシア：エリツィン
- ② 日本：菅直人 米国：G・W・ブッシュ 英国：ブレア
ロシア：メドヴェージエフ
- ③ 日本：菅直人 米国：オバマ 英国：サッチャー
ロシア：メドヴェージエフ
- ④ 日本：福田康夫 米国：オバマ 英国：キャメロン ロシア：プーチン
- ⑤ 日本：小泉純一郎 米国：G・W・ブッシュ 英国：ブレア
ロシア：プーチン

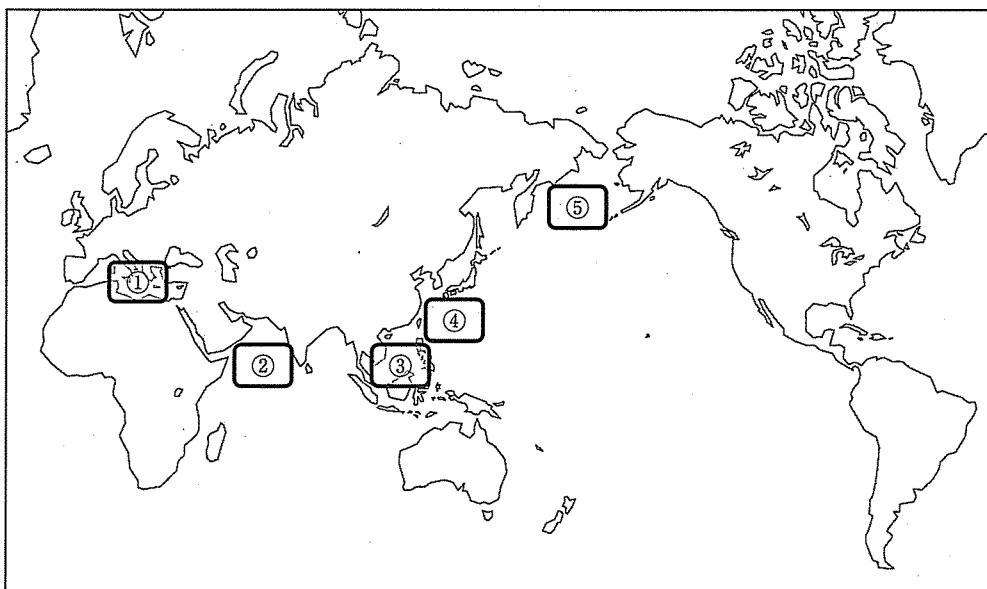
問10 G と H に入る語句の組み合わせとしてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の 29 にマークしなさい。

- ① G : ボコ・ハラム H : アルカイダ
- ② G : アルカイダ H : タリバン
- ③ G : タリバン H : ボコ・ハラム
- ④ G : アルカイダ H : ボコ・ハラム
- ⑤ G : タリバン H : アルカイダ

問11 I に入る語句としてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の 30 にマークしなさい。

- ① テロ対策特別措置法
- ② 国際平和協力法
- ③ 海賊対処法
- ④ アフガニスタン復興支援特別措置法
- ⑤ 補給支援特別措置法

問12 J を示す海域としてもっとも適切なものを図の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の 31 にマークしなさい。



問13 下線部(d)に関連して、次の表はオーストラリアの経済平和研究所が公表した2000年以降の「グローバル・テロリズム指数」ランキングであり、テロの発生件数と犠牲者数に基づく指數の高い順に並べたものである。
 [K] , [L] , [M] に入る国名の組み合わせとしてもっとも適切なものを下の①～⑤のなかから1つ選んで、解答用紙(その1)の[32]にマークしなさい。

2012年			2014年			2016年		
順位	国名	指数	順位	国名	指数	順位	国名	指数
1	イラク	9.556	1	イラク	10	1	イラク	9.96
2	パキスタン	9.049	2	アフガニスタン	9.39	2	アフガニスタン	9.444
3	アフガニスタン	8.669	3	パキスタン	9.37	3	ナイジェリア	9.314
4	インド	8.147	4	ナイジェリア	8.58	4	パキスタン	8.613
5	イエメン	7.305	5	[L]	8.12	5	[L]	8.587
6	ソマリア	7.244	6	インド	7.86	6	イエメン	8.076
7	ナイジェリア	7.242	7	ソマリア	7.41	7	ソマリア	7.548
8	[K]	7.086	8	イエメン	7.31	8	インド	7.484
	(中略)			(略)			(中略)	
			10	[K]	7.19			
						11	[M]	7.132
14	[L]	5.861					(中略)	
	(中略)					15	[K]	6.706
			51	[M]	2.95			
56	[M]	2.163						

(出典：Institute for Economics and Peace, "Global Terrorism Index 2012," "Global Terrorism Index 2014," and "Global Terrorism Index 2016")

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| ① K : マレーシア | L : チュニジア | M : ロシア |
| ② K : シンガポール | L : チュニジア | M : ウクライナ |
| ③ K : タイ | L : アルジェリア | M : ロシア |
| ④ K : タイ | L : シリア | M : ウクライナ |
| ⑤ K : マレーシア | L : アルジェリア | M : ウクライナ |

